

訪問ボランティアに関する現状調査と今後のあるべき姿の検討

(こむ1会交流・大掃除WT)

2021.06.21

1. 目的

こむ1会は宝塚市社会福祉協議会の登録サークルのうち、ぷらざこむ1に登録されているグループおよびこむ1会の趣旨に賛同する個人で構成されています。このうち我々のワーキングチームは「交流・大掃除WT」として、「ぷらざこむ1における交流活動の計画や実行」をミッションに活動を開始した所です。

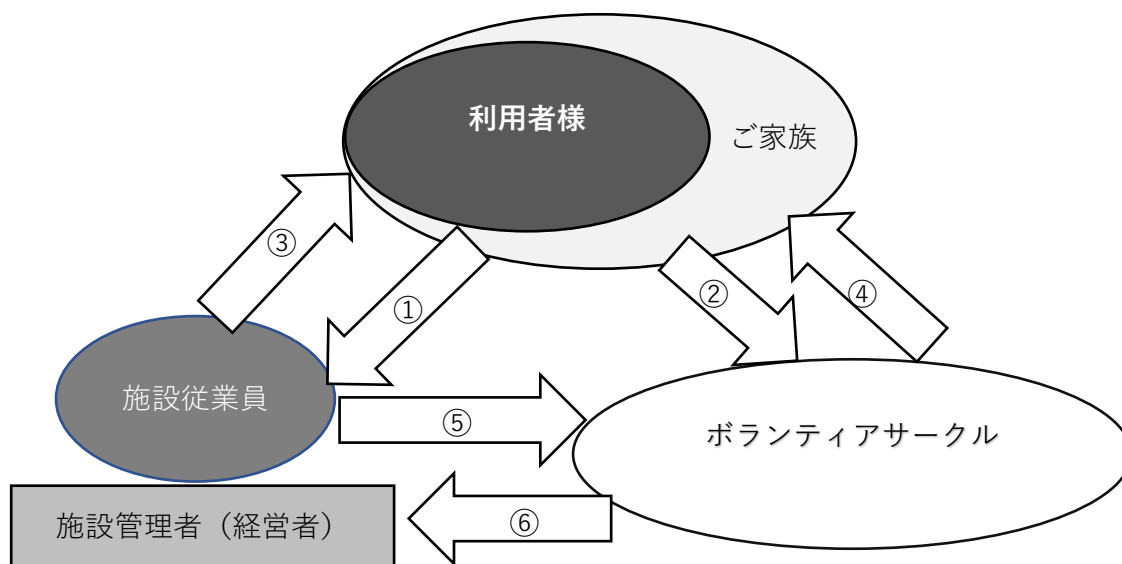
その活動の企画検討にあたって、施設訪問を話題の一つにして、このコロナ禍の中の活動のに関して話し合ったところ、従来通りの活動が出来ているグループは極少数で、チーム訪問が実施できないで、実質活動を休止せざるを得ないグループが大多数でありました。

この度チームで話し合った結果、まずこの現状を打破する為に、関係者で手分けして実情を調査し打開策を見つけようとの意見でまとまりました。

2. 検討会の概要

2・1 検討すべき事項

- 1) 施設利用者様、施設従業者等の現在置かれている状況は？
- 2) ボランティア活動の訪問受け入れが出来ない状況下での問題点・課題等は？
- 3) ボランティア活動サークルに望みたいこと等は？



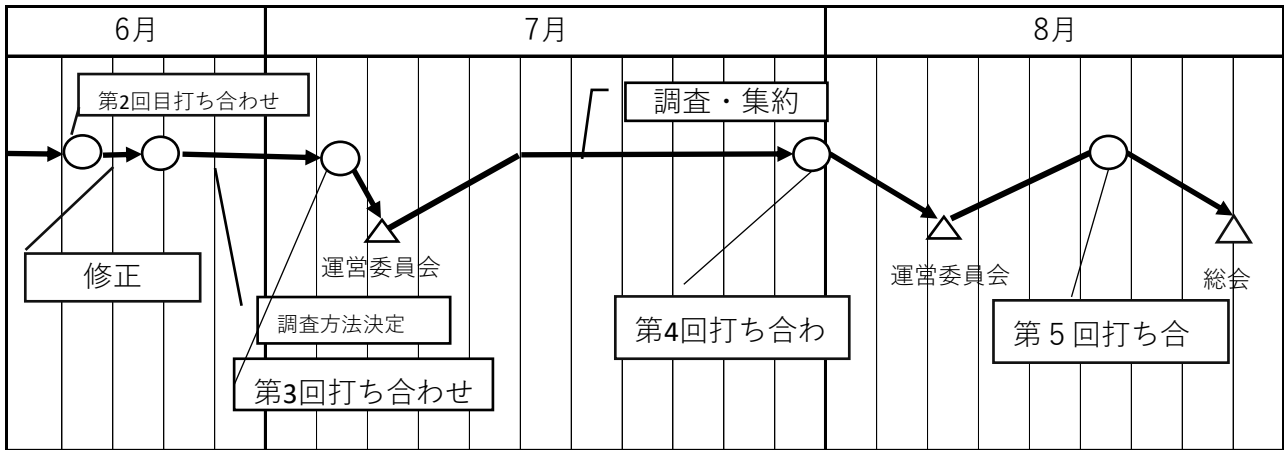
図ー1 施設訪問に関する相関図

2・2 検討の基本原則

- 1) 利用者様、施設側及びボランティアサークルの間の課題や問題点を明らかにしたい。
- 2) 情報は現地・現物・現実を大切にし、私情・憶測を排除する。

3. 具体的検討方法及びスケジュール（案）

3・1 スケジュール（案）



3・2 調査方法

施設側に参加いただいてリモート会議で実情を調査する方法も考えましたが、コロナ騒動が未だ解決していない状況を考慮して、ヒヤリング方式で調査することと致しました。

3・2 ヒヤリング方式の具体的方法

- (1) WTは一応調査者と致しますが、今迄施設訪問など全く経験が無く、調査が難しいグループは参加を見合わせて頂いて構いません。
- (2) こむ1会会員で調査に協力していただける方は以下の要領で参加下さい。尚施設訪問を中心とした活動グループさんには積極的な参加を要請いたします。

Step1：各グループから榎本さんに調査先案を呈示してください。連絡方法は電話、メール等をお願いします。

Step2：重複を避けるため榎本さんで管理していただきます。申し出の調査先が重複していなければ、直ぐに調査にかかっています。重複の場合は他の候補を再申請して頂きます。

重複の無い調査先が決まり次第調査にかかっています。

Step3：調査実施

可能なら訪問して現地で調査するのがベストであります。コロナ禍の中電話等での調査で構いません。

調査結果は別紙のヒヤリングノートに記入をお願いします。

7月25日（日）迄に調査結果（ヒヤリングノート）をmail、ファックス、郵送等で榎本さん迄提出してください。尚書ききれない場合は別紙をお願いします。

Step4：WTで集約を行い調査結果を元に今後の施設訪問の有り方を検討いたします。

又その結果は運営委員会などで会員の皆様に報告して、活動の参考にして頂きます。

